

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和7年度

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社理念、ホーム理念である「ぬくもりのある生活・暮らしの継続・待つケア」を全員周知、実践し日々のケアを急がず急がせず、ゆっくりと支援し入居者様に「あたりまえの暮らし」を提供しています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町会に加入して子供会の廃品回収協力や町会イベントへの協力、協賛も行ってホームイベントや認知症カフェに地域の方達が気軽に参加、交流を深め、信頼を受けてきた事で地域から SOS 発信が来るようになってきている。。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症カフェの開催日に会議を行うようになって地域の方たちに運営状況、事故報告、入居者様の近況、サービスの報告を行い、委員会構成員様や地域の方達から助言要望を伺いサービス向上に役立っている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大阪市福祉局、都島区役所等には運営上の疑問点などを教授頂いている。また都島施設連絡会、社協、地域包括とも連絡、相談、助言を頂き、また研修や交流会への参加で見識を学んでいる。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束、不適切ケアの勉強会を毎月実施。職員にチェックシートを利用し状況確認を行いチェック者へのヒアリング、指導した内容をもとに身体拘束廃止委員会で検討、検討結果を全職員に共有、周知を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、職員へ勉強会を実施していること。『身体拘束廃止委員会』を設置することで現場の身体拘束・不適切ケアの状況確認をおこない、その結果を全職員に伝えていることで効果的な支援体制が整っていると評価いたします。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケア・虐待・身体拘束防止の勉強会を毎月行っている。特に日常会話での虐待は本人の気付かないことが多いので起きる可能性が高いことをスタッフ一人ひとりが自覚し、お互いを注意し合える関係作りをしている。		A. <u>充分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『虐待』についてまた、それにつながる不適切ケアや身体拘束についての学びを毎月おこなっていること。見過ごしやすい利用者様への日常会話について職員全体で情報共有できる体制が整っていると評価いたします。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の中にも数名、後見人制度を利用しているので弁護士、司法書士に仕組みについての質問など身近に学べる環境にある。ホームにおいても研修を通して活用の必要性を理解している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は家族様の時間の都合を聞き、ゆっくりと時間をかけ読み合わせを行っている。疑問点、質問には即答できないような内容に関しても本社や行政に相談し助言を求めるなどの対応をしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気軽にご意見を言って頂ける環境づくりを心掛けて家族様からスタッフ、管理者に意見、要望を話して下さっています。ご要望に関しては即刻話し合い実行できる体制にしています。また玄関にはご意見箱を設置している。		A. <u>充分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修など管理者から職員全体への指導が整っているため自然に日々の意見を伝えやすい環境だと察します。早急な対応を心がけ、利用者様からの意見を取り入れやすくされていることを評価いたします。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のホーム会議、各委員会会議には全員参加できる様シフト調整をしてホーム運営、個々の意見交換の場に行っている。また日々の朝の申し送り時は少し時間をかけミーティングを行っている。スタッフ全員でホーム運営をしているという自覚を常に持つ様に行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を実施、自己評価とヒアリング等を行い実力に見合った段位とそれに伴う給与体制、定時退勤、有給取得など働きやすい環境作りに努めている。また定期的な面		A. <u>充分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の日ごろの訴えを定期的な面談で把握することができていること。定時退勤、有給取得ができる環境に勤め、業務内容を調整しやすい環境が整っていると評価いたします。

				談を実施して、職員個々の思いや悩みなどを聞く機会を設けている。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月一回の社内研修を義務付けておりテーマに沿って研修を行っている。無資格者には実務者研修支援、介福試験、ケアマネ試験には社内研修、他ホームとの合同研修と学べる機会を多く設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な研修をすることで、職員間の意識と知識につながっている。また、必要な研修を法人関係先と合同で取り組む等、組織が一体となり職員を支援していると評価いたします。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の連絡会等の研修、勉強会に参加し、他事業所との交流を持てるようにしている。今後は職員が交流していけるような場を作っていけるよう尽力したいと思っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームは入居者様の終の住まいであり、スタッフたちには出勤時は「ただいま」退勤時は「いただきます」で入居者様に家族の一員だと位置づけてサービスを行っている。思いに共感し、ともに支え合って暮らせる場としている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームと同区内の方が多く、買い物など外出先は入居前のなじみの場所なので地域での生活が途切れることなく続いている。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様、本人様から生活歴、趣味、趣向などを聞きスタッフ間で共有し、なじみの場所に出かけるなど個々に対応している。日々の暮らしの中での気づき、変化は毎朝の申し送り時に検討してその場その時の状況に応じて柔軟に対応している。(家族様との食事や外泊など。)			
----	----------	--	--	--	--	--	--

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様、家族様の思いや要望を話し合い、その人にあったプランを作成、実行している。毎朝の申し送りの中でスタッフの意見、その人の為のサービスを検討しプランの見直しを行っている。必要な場合は医師、看護師とも話し合い随時見直しを行っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人に合ったプランを作成できる環境作りと必要に応じて専門職からの意見も取り入れることができていることを評価いたします。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録、健康チェック表などを作成して日々のケアの記録を残し、スタッフ間で共有しているが、細かい気づきや伝達にはメモ代わりに使えるような用紙も工夫し情報交換に役立っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間での利用者様への細かい気づきは大切なことであり、情報共有だけでなく、アセスメントへ必要な情報であれば、その都度記録へ記載していただくことにより個別性を重視した支援につながると考えます。メモ代わりに用紙から転記や添付できているのであれば問題ないと思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小規模多機能サービスを併設しているので、本人様のニーズに応じたサービスの変更(退居→在宅)などを検討させて頂いている。また重度化した時の入浴に小規模の機械浴を利用させて頂いている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのスーパーへの買い物支援、地域公園などの公共施設を利用したサービスなど幅広く支援の輪を広げている。またボランティア(学生)を利用して楽しんで頂くサービスも行っている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム提携医は24時間体制を取っており往診時は医師、看護師、薬剤師各ユニット計画作成者、家族様等とカンファレンスを開催している。また緊急時には搬送先病院、家族様への対応も行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携医との契約の折に家族様に緊急時搬送先希望を聞き、対応できるようにしている。入院中の支援も行えるようにしている。退院の受け入れも医療機関との情報交換、受診への対応などの支援を行っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、家族様へ緊急時対応について聞き取りを実施され職員間で戸惑うことなく早期対応ができる体制が整っていると評価いたします。

				<p>食事はスタッフと一緒にテーブルを囲み雑談をしながら賑やかに食事時間を過ごしている。</p>		
29	栄養摂取や水分確保の支援	<p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>入居者の咀嚼力、体調に応じた食事形態を把握し食事を提供している。毎月体重測定を行い体重の増減を記録して医師、看護師と共有し健康管理をしている。水分は1日1500cc～2000ccを目標として摂取して頂いている。</p>		
30	口腔内の清潔保持	<p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>食後の口腔ケアはその人の能力に応じ声かけ、誘導、介助などの支援を行っている。また、介助が困難な入居者様、家族様の希望による方達が訪問歯科による口腔ケアを利用している。</p>	<p><u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>口腔機能の低下は全身機能悪化につながっていくため、訪問歯科の介入や個人に合わせた介助等を実施していくことで利用者様の効果的な健康維持に反映されていると評価いたします。</p>
31	排泄の自立支援	<p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>個々の排泄パターンを把握して排泄感覚のない入居者でもトイレで排泄を目標としてトイレ誘導を行っている。失禁の多い入居者様には声かけで失敗を少なくしている。立位のできない入居者もトイレに誘導を行えるよう移動、移乗の研修を行いスタッフのスキル向上を行っている。昼夜問わずオムツは使用していない。</p>	<p><u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者様の状況に応じて声掛けや支援をおこない職員の体制が手薄になる夜間にもオムツを利用しない配慮は個人の自尊心を尊重した取り組みをされていると評価いたします。</p>
32	入浴を楽しむことができる支援	<p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人の希望により毎日入浴や入浴中も本人のペースに合わせてゆっくりした時間を過ごして頂いている。拒否の強い方には誘導方法を検討し成功例を共有実行している。重度の入居者様には併設施設の機械浴を利用している。</p>		
33	安眠や休息の支援	<p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>入眠剤は一切使用せず日中、夜間の生活環境を整え安眠できる環境づくりをしている。就寝時間を自由にして無理な就寝を強要しないようにしている。眠れないことで悩まない様話を傾聴し寄り添えるような支援をしている。</p>		

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフは入居者様の現病、薬の目的を理解し服薬支援を行っている。また誤薬、飲み忘れなど服薬ミス事故防止の為服薬マニュアルを作成し何重にも服薬チェックを行って事故防止を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が入居者様の現病や治療目的を理解したうえで服薬支援をおこなっておられ、誤薬などの事故防止に向けて服薬マニュアルを整備し、確認体制を設けている点は、安全管理の観点から適切な取り組みと評価できます。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理をされる方、歌を歌うのが好きな方、夕食時ビールを楽しまれる方等々生活歴趣味を活かし持続していける様取り組んでいる。また気分転換に一日一度は玄関から出て外気浴ができる様環境を作っている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天気の良い日は買い物、散歩、洗濯干し、水遣りなど外出支援を行っている。電車、観光バスを利用した遠足など家族様も一緒に楽しんでいる。また個別で買い物、馴染みの病院などへ行くなどの支援も行っている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が現金を持つことは紛失のリスクがあるので、買い物時にホームの小口現金を入居者様に支払いをして頂けるような支援も行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様、本人の希望により電話の取次ぎ、手紙のやり取りの支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関、各ユニットの壁には季節ごとの入居者様合作の作品を飾り、南向きのリビングは日差しが眩しく冬でも暖房が要らないくらいです。乾燥とウイルス対策のため加湿器をリビングと居室へ設置をしています。入居者様が自由に過ごせる様安全面での配慮を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとに合作作品を掲示しており、施設全体が温かい雰囲気にも包まれていると思います。乾燥やウイルス対策として、リビングと居室に加湿器を設置し、健康面への配慮も行っていて、入居者様が自由に過ごせるよう、安全面にも十分に配慮した環境づくりが進められている点が評価できます。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様一人ひとりの状況に応じ柔軟に対応している。思いや願いを表せる人にはその人の意向に沿った暮らし、表現できない方には穏やかに暮らせる環境を提供している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症になられ家族様や生活を忘れた入居者様に思い出し、覚えている情報で家族様への思い、生活を再現して頂けるよう支援をしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフは入居者様個々の日々のバイタルチェックや小さな変化も見逃さず報告し健康で安全なホーム生活が出来るよう支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のなかでバイタルチェックなどからご利用者様の些細な変化も見落とすことなく、報告し健康かつ安全な生活が送れるように支援されている点が評価できます。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早起きの方、朝が苦手な方、日中は傾眠、夜型の方など入居者様はこれまでの暮らしの習慣に沿った生活を継続して頂いています。集団生活でなく入居者様ひとり一人の生活を施設が提供しています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設への入居を引っ越しと呼び入居者様が生活していた空間をそのまま施設に持ち込んで頂けるよう家族様とお話し、引っ越しのお手伝いも行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様のこれまでの生活状況を尊重したかわりをする事で本人や家族の信頼と安心につながっていると評価いたします。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様の意向というより家族様の意向で、お孫様の結婚とかの慶事や近しい方たちの法要や墓参りなどに参列される時の準備や送迎などの支援を行っている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事や得意とする事、また生活歴の中で出来ていた事が出来なかって落胆したというような事を入居者様個々にアセスメントを行い楽しく行える役割を見つけ出し行って頂いている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様一人ひとりに寄り添い会話や活動が出来るよう個別にケアを行っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の個別性を重視されたかわりから、職員間で個人を尊重されたケアができていると評価いたします。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わりを持ち、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の地域とは家族様や職員を介さなくては出来ないが、施設内で他の階のフロアの入居者様と訪問や招待をして、お茶会やお喋りなどを楽しむ機会を支援している。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様みな様がホーム生活を穏やかに暮らしていける環境を提供し、家族様に安心してご自身の暮らしを営んで頂けるようなホーム作りを職員全員で切磋琢磨し誠心誠意取り組んでいきたいと思えます。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様に対して、職員間での統一したケアをおこなうことで安心感から親しみのある関係性が構築できていると評価いたします。